

み ち

第 13 号

2018年3月1日 発行

安城保護区保護司会
発行責任者 石川 誠

安城市役所社会福祉課
総務部会「みち」編集委員会

第67回社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。



標語受賞者のみなさん



作文受賞者のみなさん

(P2、3に掲載)

重点地区の啓発活動

安城南中学校区 保護司 水野 義孝

本年度の「社会を明るくする運動」重点地区は、安城南中学校区が担当し、平成29年7月1日（土）新設の『アンフォーレ』で副市長、薬物乱用防止指導員、中学校区の16町内会長、協力雇用主、更生保護女性会、中学校区の市議会議員の協力で啓発活動を行いました。中学校区の町内会には、啓発グッズを配布し、犯罪や非行の防止、立ち直り支援のきっかけとして街頭啓発活動、ミニ集会（地域集会）へのご協力をお願いしました。7月中旬には、街頭啓発活動の写真と報告書を皆さんに持参し、さらに協力依頼をしました。



西中学校区・篠目中学校区合同ミニ集会

安城西中学校区 保護司 梅村 正一

ミニ集会は、平成29年7月15日（土）午後4時から二本木コミュニティセンターを会場に合同で開催しました。開催にあたっては、二本木連合町内会の全面的協力を得て町内会役員、民生委員、安城西中学校長、篠目中学校長、警察関係者など43名の参加者がありました。神谷善雪保護司による薬物乱用防止の講話、更生保護活動を紹介したDVD放映を行い、質疑応答では、保護司の確保のため任用年齢制限の緩和や聴覚障害者の保護観察について質問がありました。



標語・作文の表彰(安城市標語・作文コンテスト)



標語

最優秀賞 大谷 悠乃 安城西中学校3年
「育てよう 優しい心と 笑顔の輪」

優秀賞 土工 悠衣 安城南中学校3年
「目を向けて スマホじゃ相手に 伝わらない」

優秀賞 杉浦 舞帆 安城南中学校3年
「あなたの手 いじめじゃなくて 救うため」

入選 近藤 宰 安城南中学校3年

入選 鎌田 なつみ 安城南部小学校6年

入選 田中 愛莉 安城中部小学校5年

作文

最優秀賞 紫倉 千夏 明祥中学校2年
「相手を思う気持ち」

優秀賞 中村 仁美 篠目中学校3年
「夢と希望と 今中学生が訴えたいこと」

優秀賞 別所 圭太 桜井小学校6年
「犯罪のない世の中へ」

入選 村松 泰地 東山中学校1年

入選 森川 理央 錦町小学校6年

入選 藤井 にこ 安城中部小学校6年

最優秀賞 羽田 濡紗 祥南小学校5年
「そのえがお おうちでまってる 人がいる」

優秀賞 池野 紗和音 祥南小学校1年
「町内みんな顔見知り みんなで防ごう 犯罪を」

優秀賞 入山 ちほみ 安城南部小学校1年
「非行の芽 つみとる道具は 地域の目」

入選 德本 陽詩 三河安城小学校5年

入選 森川 奈保 丈山小学校5年

入選 友廣 夢就 安城中部小学校2年

最優秀賞 長谷川 優奈 祥南小学校6年
「言葉は心を傷つけ心をいやす」

優秀賞 福永 珠久 里町小学校6年
「明るい社会を目指して」

優秀賞 三輪 桜己 志貴小学校6年
「『気がついて』大切なことに」

入選 三浦 萌花 安城北部小学校6年

入選 久世 獅結 丈山小学校5年

入選 三宅 洋翔 高棚小学校6年

〈作文〉最優秀賞

「相手を思う気持ち」 明祥中学校2年 紫倉 千夏



犯罪や非行に走ることは、とてもいけないことだと思います。しかし罪を犯してしまった人だけが悪いとは限らないと思います。なぜなら、それを他の人が止めることができていたかもしれないからです。また、誰かの言葉や行動がきっかけとなつておこつてしまつたことかもしれないからです。

何かをする時には、必ず理由があると思います。テレビなどで、面白そだからやつた、やってみたからやつた、みたいな事を聞いたりしますが、それとは違う思ひがある人もいると思います。

部活や勉強、友達関係などでうまくいかず悩みやストレスを抱えている人はたくさんいると思います。そんな時は、私はお母さんや友達に話すようにしています。誰にも話さずにしておくと、どんどんストレスを感じてしまつります。悩み事は一人で抱え込まずに誰かに相談することが大事だと思います。誰にも相談せずに一人で抱えこんでしまうことにより、イライラがたまり、悪い事をするようになつてしまつてもいると思います。その、

ちょっとした変化に気づいてあげる事はできないのでしょうか。そして、相談にのつてあげる事はできないのでしょうか。少し声を掛けてあげるだけでもその子の未来は十分かわつてくると思います。

もしも、犯罪や非行の道へ進んでしまつたとしても、やり直すことは可能だと思います。しかし、一度でも犯罪を犯した人に対して私たちはとても冷たくなります。その理由には、その人と関わるのが怖いといったのもあれば、もう一度やるんじゃないの、といった疑いがあるからではないでしょうか。そんな疑いを残したまま接してしまつと、何かあつた時にその人がやつたんだと証拠もなく悪者に仕立て上げてしまつのではないかでしょうか。例えば、万引きをしていた子だとすると、またやるかもしれないという風に見られてしまいます。そんな時に万引きがおこつたとしたら、みんなはその子がやつたんだと思つてしまつます。このようにやつてもない罪をかぶせられたとしたら、この人はまた、悪い事をするようになつてしまつかもしれません。

私は、必死でやり直そうとしている人たちに、対しても冷たい目、疑いの目で見ているのです。そんなでは、その人たちがどれだけ頑張ったところで正しい道へと進んで行くことは不可能になってしまうのではないかでしょうか。なので、まずは私たちが、その人たちを暖かく受け入れてあげることが大切だと思います。また、「犯罪者」と聞くと、悪い人だと決めつてしまいがちです。私も、犯罪と非行について考えるまでは、犯罪者はとても怖くて悪い人だと決めつけていましたが、悪い人ばかりではない、一生懸命変わろうとしている人がいる、と思った

ら、そんな人たちを応援したいと思いました。

誰でも優しく暖かい心をもっていると思います。その、暖かい心と信じる気持ちを大切にし、一人でも多く、犯罪や非行の道へ行ってしまう人を助けてあげられるようになりたいと思いました。相手を思いやる気持ちを大切にしていけば、たくさんの笑顔と幸せがあふれる世の中になっていくのではないかでしょうか? そういうちょっとした気持ちが、犯罪や非行のない明るい社会を作っていくんだと思います。

〈作文〉最優秀賞

「言葉は心を傷つけ心をいやす」 祥南小学校6年 長谷川 優奈



最近、ニュースで「いじめ」という文字をよくみかけます。いじめをしている人は、人を傷つけて楽しいのでしょうか。

わたしは、他の人を傷つけたり、いじめたりすることは、絶対にしてはいけないことだと思います。

一つ目の理由は、第一、人を傷つけるからです。いじめ=傷つけるものであり、悪口を言われたり、無視されたりした人は、いつしゅんで心に傷がついてしまいます。そして、人がいじめられているところをみていた人も心に傷がついてしまうと思います。いじめで傷つく人は、想像以上にいるのです。

二つ目の理由は、いじめを続けていると、ときとうとい命を失わせてしまうかもしれないからです。ときどき、ニュースでみるよう、いじめのエスカレートなど、いじめが原因で世界に一つしかない大切な命がうばわれたという事件が実際にあることをみなさんには、知っていますか? 短くいうと「自殺」です。もう、だれもわからないほどの深い傷がつき、自ら自分の命を絶ったのです。このことで悲しい思いをした人はたくさんいたと思います。こんなに悲しい事件はもう絶対におこしてはいけません。

遊びで友達をけったり、「バーカ」と笑いながら言ったりしているだけだからだいじょうぶと思っている人もいるかもしれません。でも、やられている人は笑顔かもしれないが、心の中ではとても傷つき、苦しんでいると思います。遊び感かくで友達をいじめている人は今すぐやめてほしいです。

いじめは絶対にしてはいけないことだと思います。そして、いじめられている人をみかけたら、たすけてあげてください。いじめられている人をいじめからたすけることは勇気がいるし、とても難しいことだと思うけど、勇気をだして声をかけてあげることが大事だと思います。日ごろから相手の気持ちも考えて過ごすことが大切です。

今、わたしの学校の代表委員は、「ありがとうプロ

ジェクト」という活動を行っています。わたしが通っている小学校では、最近、「ありがとう。」の言葉が減ってきていると感じました。そこで、この学校にありがとうの言葉が増えるように、ありがとうの言葉でつつまれた学校生活がおくれるようにと願い、ありがとうプロジェクトをつくりました。ありがとうプロジェクトでは、みんなは一日にありがとうを何回言っているのか、そして、そのありがとうの言葉は、いつ、どこで、だれに言ったのかを調べるために、チェックカードやアンケートをつくり、全校のみんなに答えてもらいました。他にも、校内放送でアンケートの結果を伝えたり、全校集会でありがとうをたくさん言おう、と話したりしました。

私は、ありがとうの力ってすごいなと思ったことがあります。学校の大そうじの時に、風でたくさんの紙が散らばり、困っている女の子をみかけました。わたしは、その紙をひろって女の子にわたしました。すると、女の子はわたしに、とてもうれしそうに、「ありがとう。」

と言いました。私は、とてもささいなことをしただけだけど、このありがとうで心がとてもあたたかくなりました。相手も自分もうれしい気持ちになれるありがとうの言葉ってすごいなと思いました。

ありがとうプロジェクトを行い、この活動をする前より、ありがとうの言葉が増えたと思います。わたしは、ありがとうプロジェクトや日常生活の中から、ありがとうの言葉が持っている力や人を大切にすることの大しさを学びました。これからも、困っている人がいたらよりそってあげたいです。そして、ありがとうをたくさん言えるように、人の行動をみて、周りの人が喜んでもらえるような行動をしたいです。もっと学校にありがとうをひろめて、地域にもありがとうがひろまってほしいです。そして、いじめが全くなくなり、ありがとうの言葉であふれる明るい社会になるように願います。

更生保護女性会の活動

更生保護女性会 会長 加藤 美知子

私たち更生保護女性会は、保護司会と共に活動しており、三つの柱である「更生保護活動」「非行防止活動」「子育て支援活動」に重点を置き、子育て支援活動を行っています。

会員はマスコット（ビーズのストラップ）を作り、市内の幼稚園、保育園へ「小さな目、親と社会を見て育つ」の標語をそえて、毎年、約1000個程贈っています。

更生保護施設訪問を通して、「犯罪を犯してしまった子供達は幼少期の親との係わりがとても希薄で、家庭の暖かさを知らずに育った人が多く、人との付き合い方や、基本的なマナーを知らない」と聴いてとても悲しく、やり切れない思いがいたしました。人の長い一生の中のほんの数年の親との絆が大切な役割をしていると思います。

また、公民館での託児協力では母親からの相談を受けることもあります。私たちの経験を話したり、不安に思っていることにアドバイスをしたりして、少しでも親の悩みを軽減できたらいいと思います。子供達の届けのない笑顔をながめながら、これからも小さな力ですが、前向きに更生保護の活動を続けてまいります。



安城協力雇用主会設立から6年

協力雇用主会 会長 鈴木 浩

安城協力雇用主会は、平成23年度安城保護司会と市内14社の協力雇用主会でスタートして、6年が過ぎました。現在41社の協力をいただき、職種は大半が建設業です。

ここ数年、対象者との面接は年10人程で勤務から実質雇用に繋がるのは2・3人です。

全国的には、1年もたたないうちに、再犯した人は5割あります。また、再犯時無職の人は、約7割にものぼることが調査で明らかになっています。刑務所を出て社会に復帰した時、「居場所」や「仕事」を確保していくことが大切です。こういった現状の中、今後積極的な雇用に進んで行かなくてはと思います。

明るい社会、お帰りなさい精神で安城協力雇用主会は進んでまいります。皆様のご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。



瀬戸少年院での活動に参加して

安城市BBS会 加藤 逸紀

安城市BBS会は、設立2年が経過しました。現在までに「ともだち活動」の実績はありませんが、定期的に会合を持ち会員同士の交流を深めています。保護司の方々をはじめ、更生保護団体の皆さんと情報交換をさせていただいている。また、市内の美化ボランティア活動に参加したり、近隣のBBS会との交流も行っています。

今回は、愛知県BBS連盟として「瀬戸少年院での活動」に参加し、「読書感想文発表会」と「意見発表会」では審査員をしました。発表内容は、よく指導され、しっかりと練習した内容だと感じ

ました。少年院と一口に言っても、実際にはどのようなものなのか殆ど知らない状況での参加でしたが、実際に見たことによって調べたり考えたりするきっかけになりました。こうした経験も、今後「ともだち活動」を行う際の役に立てられたらと考えます。



保護観察の現状

名古屋保護観察所 保護観察官 吉川 綾美



平成29年度より、安城保護区の担当をしております。

今回は、保護観察官から見た「保護観察の現状」について、ご紹介いたします。

平成27年度より、名古屋保護観察所で勤務しておりますが、名

古屋保護観察所の保護観察の係属性件数は、少しずつ減少しております。安城保護区におきましても、同様に保護観察係属性件数が少しずつ減少しているところです。このように、「事件数」で見ますと、安心安全な社会が実現されつつあるように思われます。

一方で、日々対象者に接している私たち保護観察官及び保護司さんは別の現状につき当たっているように思います。それは、再犯率の高い薬物事犯者をはじめとする立ち直りまでに時間や手厚い支援を要する対象者が増えていることです。この者達の中には、地域の社会資源の情報に乏しく、「孤独」を抱えている者が少なくありません。

私たち保護観察官も専門的処遇プログラムの実施や日々の面接指導を通じて、本人の改善更生を促しているところですが、地域の皆様におかれましても、あたたかい見守り、助け合いの輪を広げていただき、「孤独」の解消にお力添えいただければと思います。

更生保護サポートセンターの今後の取り組みについて

サポートセンター長 保護司 後藤 喜久男

近年、保護観察対象者の抱える問題の複雑・多様化等により、個々の保護司だけの支援では保護観察対象者等の立ち直りを実現させることが困難な状況となっています。処遇活動の組織的支援や犯罪予防活動の拠点として、また、地域における更生保護活動の強化を目的としたサポートセンターも5年目を迎え、保護司の情報交換の場、部会や処遇会議、対象者との面接の場所として定着が図られてまいりました。

一番大きな効果としては、これまで同じ保護区でも研修等でしか接する機会のなかつた保護司同士がより親密になり、処遇の悩みや社会資源等の情報交換がしやすくなつたことであると思います。今後は、新任保護司の処遇能力向上のための研修会の開催、保護司同士の処遇会議・情報交換会などを積極的に開催し一層の活性化を図りたいと考えています。

過去3年のサポートセンター利用者数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
27	121	137	109	128	141	164	160	150	171	136	144	134	1,695
28	118	149	129	156	156	153	178	135	139	130	161	152	1,756
29	135	134	137	169	188	169	178	147	159	140	136	133	1,825

主要な利用目的（活動内容）

- ①対象者の処遇に関する事務及び協議、並びに情報の交換 ······ 122件
- ②保護司会の運営に関する事務及び協議 112件
- ③サポートセンターの運営に係る事務及び協議 ······ 54件
- ④部会の活動に関する事務及び協議 ······ 50件
- ⑤保護司の研修に関する事務及び協議 41件
- ⑥対象者等との面接 ······ 37件
- ⑦社会を明るくする運動に関する事務及び協議 ······ 33件
- ⑧関係団体（雇用主会・更女会・BBS会・警察等）との協議 ······ 22件
- ⑨学区の保護司活動に関する事務及び協議 14件
- ⑩就労支援に関する事務及び協議 ······ 13件
- ⑪各種の相談 ······ 10件
- ⑫その他 ······ 42件

安城更生保護
サポートセンター

(住所) 安城市桜町19番13号(安城市役所さくら庁舎1階)
(電話・FAX) 0566-72-7010
(開所日時) 月～金 午前9時～午後4時(正午～午後1時 休憩)

平成29年度 各部会の活動状況

総務部会

部会長 富田 博治

月日	場所	事業内容等
4月5日	市内	役員引継ぎ会の運営
4月12日	さくら庁舎	4月定例会及び保護司会互助会総会の運営
4月19日	さくら庁舎	保護司会総会(名古屋保護観察所長、市長、議長、教育長、安城警察署長等の来賓)の運営
5月10日	市民会館	5月定例会の運営
6月7日	さくら庁舎	6月定例会の運営
6月~3月	サポートセンターほか	第1回~第6回総務部会広報紙「みち」の編集会議及び部会活動の協議

月日	場所	事業内容等
8月2日	さくら庁舎	8月定例会の運営
9月6日	市役所会議室ほか	9月定例会、保護司歓送迎会及び社会を明るくする運動報告会の運営
11月1日	市民会館	11月定例会の運営
12月6日	さくら庁舎ほか	12月定例会、保護司歓送迎会及び法務大臣表彰等受彰者祝賀会の運営
2月7日	さくら庁舎	2月定例会の運営
3月1日	さくら庁舎	広報紙「みち」の発行及び発送
3月7日	さくら庁舎	3月定例会の運営



保護司会総会(来賓祝辞・市長)



総務部会編集委員会



保護司会総会(さくら庁舎)

研修部会

部会長 杉浦 貴己

月日	場所	事業内容等
5月12日	サポートセンター	県外研修候補地と実施日の検討
6月19日	サポートセンター	県外研修先の決定、詳細検討
7月13日	サポートセンター	県外研修日程・内容等確認
8月30日	サポートセンター	県外研修の役割分担と最終協議

月日	場所	事業内容等
10月4日~5日	浜松市、静岡市	県外研修 (静岡刑務所浜松拘置支所及び更生保護施設「少年の家」)
10月25日	サポートセンター	県外研修の反省と県内研修の検討
12月6日	さくら庁舎	更生保護女性会との合同研修(講演)
1月10日	豊橋市	県内研修(東三更生保護会「智光寮」)



静岡刑務所浜松拘置支所



更生保護施設「少年の家」(静岡市)



東三更生保護会「智光寮」

犯罪予防部会

部会長 服部 和光

注)社明運動 = 社会を明るくする運動

月日	場所	事業内容等
4月4日	JAあいち中央本店	年間計画立案
4月28日	さくら庁舎	部会役割分担について検討 年間活動計画について立案 社明運動作文、標語表彰式、講演会の講師について協議
5月24日	サポートセンター	社明運動の実施計画作成
5月25日	さくら庁舎	社明街頭啓発活動・ミニ集会実施計画について検討 啓発用品の検討・講演会講師の依頼
6月21日	サポートセンター	啓発用品・資材の準備
6月26日	さくら庁舎	社会を明るくする運動安城市推進委員会が開催された 社明街頭啓発活動・ミニ集会実施方法及び南中学区アンフォーレ・ドミーでの街頭啓発活動について協議 啓発用品・資材を部会員で準備、各学区に配分

月日	場所	事業内容等
7月1日	ドミー前	社明街頭啓発活動実施
7月中	各学区指定会場	8学区9会場でミニ集会を実施
7月27日	さくら庁舎	安城七夕まつり巡回パトロール実施要領について協議 社明運動作文、標語表彰式、講演会の実施要領について協議
8月4・5・6日	七夕会場	安城七夕まつり巡回パトロール実施
8月23日	アンフォーレホール	アンフォーレ会場準備
8月24日	アンフォーレホール	第67回社会を明るくする運動 安城市推進委員会 標語・作文表彰式 講演会 講師 安城市教育長 杉山春記氏 演題「大切にしたいこと」 アトラクション(マジックショー)水上保之、江刺とも子氏
12月	サポートセンター	社明運動の反省会
2月	サポートセンター	平成30年度活動計画立案



七夕まつり巡回(JAあいち中央にて)



七夕まつり巡回パトロール



社明運動(総理大臣からのメッセージ伝達)

育成指導部会

部会長 神谷 善雪

月日	場所	事業内容等
4月25日	サポートセンター	部会の年度計画確認 第1回就労支援意見交換会の打合せ
5月25日	サポートセンター	BBS会との交流検討 8月研修会の計画立案
5月	各中学区	第1回就労支援意見交換会
6月12日	サポートセンター	第1回就労支援意見交換会の反省 BBS会との意見交換会計画 就労支援研究会について検討
7月31日	三河安城 コミュニティセンター	BBS会との意見交換会 BBS会と育成指導部保護司との意見交換会実施
8月17日	サポートセンター	BBS会との意見交換会の反省 第2回就労支援意見交換会打合せ

月日	場所	事業内容等
10月	各中学区	第2回就労支援意見交換会
11月14日	サポートセンター	第2回就労支援意見交換会の報告、反省 協力雇用主会との合同研修会
12月13日	サポートセンター	協力雇用主会との合同研修打合せ
1月17日	サポートセンター	協力雇用主会との合同研修会 (講演会の確認)
2月17日	安城市総合 福祉センター	保護司・協力雇用主合同研修会
3月	サポートセンター	一年間の反省及び来年度年間計画



育成指導部会(サポートセンター)



育成指導部会(サポートセンター)



育成指導部会(さくら庁舎)

この一年をふり返って

安城保護区保護司会 会長 石川 誠

犯罪のない明るい社会をめざし、保護司会は地域のみなさんの協力のもと、ともに活動してまいります。

写真はこの一年をふり返ってみた主な行事の様子です。



保護司会総会(さくら庁舎)



ミニ集会(安城南中学校区)



社会を明るくする運動街頭啓發



社会を明るくする運動(表彰式)



愛知県更生保護大会(刈谷市)

栄誉に輝く方々

法務大臣表彰

全国保護司連盟理事長表彰

中部地方更生保護委員会委員長表彰

中部地方保護司連盟会長表彰

名古屋保護観察所長感謝状(内助功労)

名古屋保護観察所長感謝状(保護司会事務協力者)

愛知県保護司会連合会長表彰

黒柳 一明

杉浦 きみよ

三浦 正喜 野村 信正

安藤 義美 太田 安彦 竹尾 香代子 島田 更司 後藤 喜久男

石川 美津子

市川 嶺

金子 久俊 清水 好史 板津 民雄

平成29年 新任保護司紹介



岩月 隆夫
(桜井中学校区)



山本 康孝
(安城西中学校区)



内藤 和光
(安祥中学校区)



石川 正美
(安城南中学校区)



杉浦 博之
(安祥中学校区)



山本 典子
(安城北中学校区)



江坂 慎也
(東山中学校区)

平成29年 退任保護司

鈴木 浩
(明祥中学校区)

杉浦 保彦
(安祥中学校区)

石黒 滋文
(安祥中学校区)

太田 邦昭
(桜井中学校区)

守永 繁治
(安祥中学校区)

富田 守男
(東山中学校区)

山本 隆教
(安城北中学校区)

事務局 安城市役所 社会福祉課社会福祉係 安城市桜町18番23号 TEL0566-76-1111